

リベラル鈴鹿 水谷 進議員

地域の学校支援について

(質問) コミュニティスクールは、地域による学校運営の支援だけでなく、今後は学校を核とした「学校力を活かした地域の再生」にも取り組む事が求められると考えるがどうか。

(答弁) 今後、地域協議会などの組織との連携や、放課後に地域で子どもの活動を支える団体との連携は益々重要になると考えている。また、

市内全体で「まちづくり」の視点からコミュニティスクールのあり方などについて検討していく必要もあると考えている。地域全体で子どもの教育を共に考え、地域の参画を拡げていく事により、鈴鹿らしいコミュニティスクールを目指すことで、やがては、学校を拠点として地域住民がそれぞれの地域について、共に考え、参画することにつながるといった、まさに、「学校づくり」から「まちづくり」へと繋がればと考えている。

その他の質問 ・防災について

公明党 藤浪 清司議員

救急搬送について

(質問) 救急搬送の現状と課題、搬送時間が伸びていること、市外への搬送が増えていることについての対策を尋ねる。

(答弁) 入電から医療機関への収容所要時間は、10年前の平成14年中は平均28.1分、平成24年中は平均36.6分。市外医療機関への搬送は、平成14年中は7.7%、平成24年中は15.0%。いず

れも救急出動件数の増加が一因となっている。平成24年中の軽症搬送は60.4%。各種広報媒体を活用し、救急車の適正利用を広報している。かかりつけ医を持つことや、コールセンターの活用など、より効果的な啓発活動に取り組む。「救急情報ネットワーク」の情報をもとに、円滑な医療機関収容に繋がるネットワークの構築に取り組んでいきたい。県策定の保健医療計画の医師不足対策を、三重県及び関係機関と連携して取り組んでいきたい。

その他の質問 ・公共資産の有効活用について

すずか倶楽部 鈴木 純議員

指定管理者制度について

(質問) 公共施設の管理に関し、民間の競争原理による住民サービス向上と経費節減を目的とする指定管理者制度について、市は「原則公募」を条例や運営指針で明記している。しかし、今定例会の提案では来年度から大幅に「非公募」が増え、指定管理料総額の9割近くになる。市長は「原則公募」の必要性を認識し、「公募」を推進しようとしているか。

(答弁) 施設の設置目的を達成するため、施設の特性、施設に係わる地域資源や人材の活用と育成など、施設の態様に応じ、どの選定方法が最も適切なサービス提供者に管理運用を任せられるかとの視点を重視し、慎重に選定した。結果として、非公募の割合が高くなっているが、市内での慎重審議、委員会での活発な議論など、条例・指針に基づき進めてきた。

その他の質問 ・地震防災訓練について

平明の会 宮木 健議員

地域福祉活動の推進について

(質問) 地域福祉計画に基づき、鈴鹿市社会福祉協議会が軸となり、地域福祉活動計画が策定されています。地域福祉計画が10年計画の9年目を迎え新たな計画を策定する時期となっていますが検証がなかなか進んでいません。福祉環境が激変するなかで拠点整備が急がれる時期にあるが、鈴鹿市のマスタープランに位置づける

ためにも地域福祉計画の策定を明確にしてほしいが、どのように対応していくのか。

(答弁) 地域福祉に求められる質と量はますます複雑かつ、増大している。地域福祉活動の推進は重要な取り組みであり、その活動拠点整備は大切であると認識している。限られた財源をもとに全市的総合的視点で事業実現に向けて前向きに取り組んでいく。

その他の質問 ・低年齢児保育推進事業費補助金